

重症筋無力症患者における月経周期と症状増悪の関連性

班 員 野村 恭一

共同研究者 伊崎 祥子, 橋本 ばく, 田中 覚, 王子 聡, 山元 正臣, 山鹿 哲郎, 杉本 恒平, 古谷 真由美, 宮内 敦生, 石塚 慶太, 鈴木 理人, 齋藤 あかね, 原 渉, 田島 孝士, 久保田 昭洋, 成川 真也, 小島 美紀, 吉田 典史, 三井 隆男, 傳法 倫久, 深浦 彦彰

研究要旨

重症筋無力症(myasthenia gravis : MG)は神経筋接合部のシナプス後膜上にある標的抗原に対する自己抗体の作用により, 神経筋接合部の刺激伝達が障害されて生じる自己免疫疾患である。男女比は1 : 1.7 で女性に多いことが明らかとなっている。実臨床の場においては, 女性患者にみられる月経周期と MG 症状増悪の関連があり, これに関する報告は新しいものでも20年以上前にさかのぼる。MG 女性患者における MG 症状の増悪と月経周期との関連性について明らかとすることを目的とし, 女性患者に対するアンケート調査結果を解析した。結果, MG 女性例の54.2%に月経関連時増悪を認め, 月経1週間前から月経中に症状が増悪することが明らかとなった。月経はMG増悪のリスク因子になりうるが, さらなる調査検討を要する。MG 症例の診療に当たり, 単に疾患の性差だけではなく, 女性患者に生じうる症状変動をも認識する必要があることが示唆された。

目 的

重症筋無力症(myasthenia gravis : MG)は神経筋接合部のシナプス後膜上にある標的抗原に対する自己抗体の作用により, 神経筋接合部の刺激伝達が障害されて生じる自己免疫疾患で, 男女比は1 : 1.7 で女性に多い。実臨床の場においては, 女性患者にみられる月経周期と MG 症状増悪の関連があり, これに関する報告は新しいものでも20年以上前にさかのぼる^{1,2)}。MG 女性患者における MG 症状の増悪と月経周期との関連について調査検討した。

方 法

2018年2~5月に当院を受診したMG女性患者と埼玉県MG患者会に参加された女性患者にアンケート調査を行い, その結果について解析した。

結 果

症例は30例, 調査時の平均年齢は50.3歳(範囲28 - 76)。罹病期間の平均は12.2年(1 - 40)で, 眼筋型4例, 全身型26例であった。

26例(87%)は経口ステロイド(PSL)治療を受けており, 現在のPSL内服量は7.3mg/日(0 - 35)であった。調査時に月経を有していたのは17例であった。この17例のうち月経周期とMG症状増悪に関連がある群(増悪あり群, n = 13)と関連がない群(増悪なし群, n = 9)に分け

てさらに検討した。PSL 治療を受けているのは増悪あり群の方が有意に多く ($P = 0.03$) , 現在の PSL 内服量も増悪あり群の方が有意に多かった ($P = 0.03$) .

月経周期と MG の症状増悪に関連があると答えたのは 54.2% (回答者 24 人中 13 人) であった。月経の度に毎回増悪すると答えたのは 66.7% (回答者 15 人中 10 人) , 月経 1 週間前から月経中にかけて症状増悪が見られることが多かった。症状増悪は日常生活に支障が生じている場合が多いことがわかった。

考 察

月経と神経疾患については、月経関連時片頭痛がよく知られるが、多発性硬化症も 42% が月経直前または開始時に症状が増悪すると言われる³⁾。女性ホルモンと MG の関連については、エストロゲンは EAMG を増悪させる方向に働く報告⁴⁾があるが、月経時はエストロゲン、プロゲステロンともに低下しているが、ホルモンの値だけではなく変動することが、症状増悪と関連する可能性がある。PSL と月経時関連症状増悪については更なる検討を要する。

結 論

MG 女性例の 54.2% に月経関連時増悪を認め、月経 1 週間前から月経中に症状増悪を認めた。月経は MG 増悪のリスク因子になりうるが、さらなる調査検討を要する。MG 症例の診療に当たり、単に疾患の性差だけではなく、女性患者に生じうる症状変動をも認識する必要がある。

文 献

1. R.R.Leker, et al. Exacerbation of myasthenia gravis during the menstrual period. J Neurol Sci. 1998; 1566: 107-111
2. 松永宗雄ら. 重症筋無力症と月経・妊娠・出産. 内科. 1971; 28: 950-954

3. Zoegdrager A., et al. The premenstrual period and exacerbation in multiple sclerosis. Eur Neurol. 2002; 48: 204-206

4. L. Delpy et al. Estrogen enhances susceptibility to experimental autoimmune myasthenia gravis by promoting type 1-polarized immune responses. J Immunol. 2005; 175: 5050-5057

健康危険情報

なし

知的財産権の出願・登録

特許取得なし

実用新案登録なし